

HOSEI

法政大学

地域づくり塾



あなたも地域づくり塾に参加しませんか？



法政大学地域研究センター

募集概要

「地域づくり」に興味のある方、現在活動をされている方またはこれから活動を始めたい方のご応募をお待ちしております。

応募用紙は各市役所に置いてありますので、必要事項を記入のうえ奮ってご応募ください。

体験プログラム・学習プログラム受講者を以下のとおり募集します。
応用プログラムは学習プログラムまで修了した方を対象に別途募集します。

応募資格

市内在住または在勤の18歳以上の方ならどなたでも応募できます。

受講料

無料(資料代として実費をいただくことがあります)

修了証明書

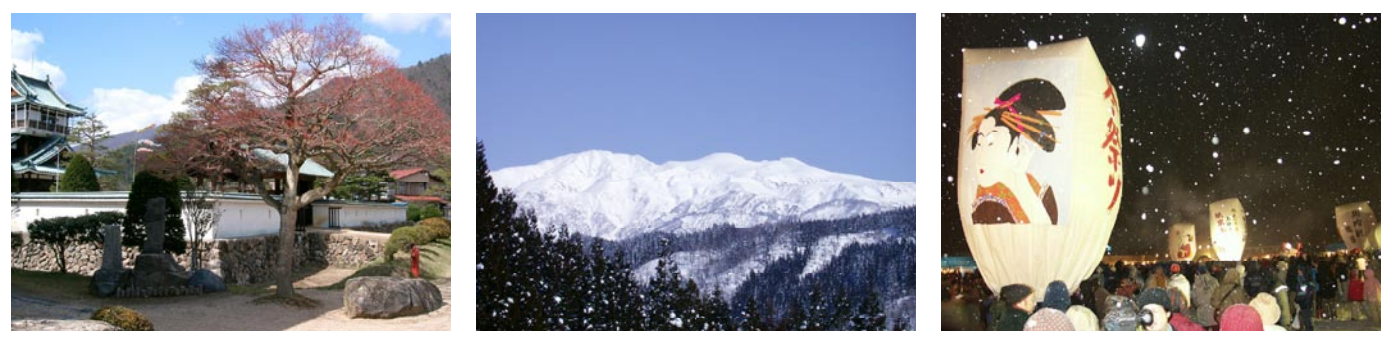
各プログラムの規定の条件を満たした修了者には、コース名を記載した「修了証明書」が授与されます。
なお、修了の要件は、出席率80%以上を目安とします(「地域づくり体験プログラム」は参加者全員に修了証明書を発行します)。

応募方法

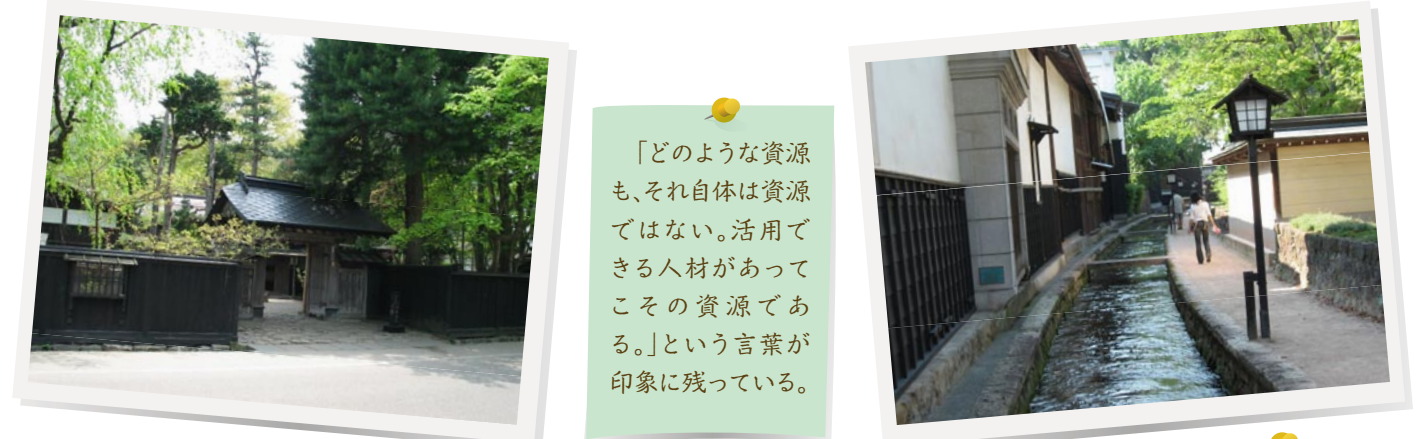
市役所に置いてある応募用紙に必要事項をご記入のうえ、市役所担当窓口までご提出ください。

お問合せ

- 仙北市: 仙北市役所 総務部企画政策課 ☎0187-43-1112
- 白山市: 白山市役所 観光推進部地域振興課 ☎076-272-1975
- 飛騨市: 飛騨市役所 企画部地域振興課 ☎0577-73-6558
- 法政大学: 法政大学地域研究センター ☎03-3264-6641



本プログラムは文部科学省「平成19年度社会人学び直しニーズ対応教育推進プログラム」委託事業として、法政大学が採択された事業です。



「どのような資源も、それ自体は資源ではない。活用できる人材があってこそその資源である。」という言葉が印象に残っている。

誰かが動き出さなければ、地域を変えることはできないと感じた。



みんなと話して元気がでた。

自分が地域のことをあまり知ってなかったことがわかった。もっと知りたい。
地域の話で盛り上がり、色々な発見があって楽しかった。

コミュニティ・ビジネスの種は、年配の方のスキルに眠っているという事例が印象的だった。

「地域について考える」から始まる 受講者の声



どんな些細なことでも、どんな土地柄でも、やろうとすればできる。やる気と人間性だといわれたような気がした。



行政でできないこと、行政でなければできないことはどんなことがあるのか、探してみたい。

ファシリテーターは、人として、相手を尊重する思いやりの心が大切と感じた。会議の場より日々の子育ての中でも、頭ごなしにしがらみ、理由を聞いてあげるようにしようと思った。とても勉強になった。



NPO法人とはどのようなものであるか理解できた。また、日本各地で色々な活動が行われていることを知ることができた。

「住民と行政が協働しないと地域づくりはできない」ということを改めて認識することができた。

地域づくり塾とは

目的

今、地域社会を取り巻く環境は大きく変化し、様々な問題が表出しています。自分の生活拠点である地域の現実
に足を据えて、問題を発見し、解決し、その活性化を担っていく人材の育成が急がれます。

法政大学では、そうした人材育成の一助となるべく、秋田県仙北市、石川県白山市、岐阜県飛騨市と連携して3市
の社会人の方を対象に「法政大学地域づくり塾」を開講しています。

特徴

① 大学と3市をつなぐ遠隔講義

テレビ会議システムを利用し、大学教員やその道のプロフェッショナルが質の高い講義を分かりやすく行います。

② 段階的な3つのステップ

地域づくり塾では、入門編として「体験プログラム」を開講しています。もっと学びたい方には「学習プログラム」で
学習していただけます。さらにご自身の活動に合わせて学習できる「応用プログラム」を用意しています。

③ プログラムをサポートするインストラクター

講義やワークショップを行うにあたり、大学で研修を受けたインストラクターが細やかなサポートを行います。

プログラムの構成

① 体験プログラム(3時間×1回)

各市に大学から講師を派遣して、講義とワークショップを行います。

「地域づくりとは何か?」「地域づくりの重要性」といった内容の講義の後、グループに分かれて自分の住む地域の
「良いところ探し」を行います。

② 学習プログラム(3時間×3回)

3市と大学を結んだ遠隔授業です。

「地域づくりの考え方」「3市の比較」「地域づくりの手法」といったことを学習します。体験プログラムを受けて、
より具体的な地域づくりに対する考え方を学習し、最後にワークショップでまとめていただけます。

③ 応用プログラム

現在行っている活動、またはこれから行いたいと思っていることに合わせた3つのコースを用意しています。

● 地域コミュニティ・NPO育成プログラム(地域リーダー育成コース)(3時間×7回)

NPOを立ち上げたい方、ボランティア活動を始めたい方、もしくは既に非営利の活動をしている方が対象
となります。

地域づくりを行う組織運営やコミュニケーション手法などを学習します。

● 地域づくり専門家育成プログラム(行政スペシャリスト育成コース)(3時間×7回)

公務員、指定管理者や公の事業の政策制定に関わる方を対象とします。

行政の立場でできることや行なうべきこと、その他組織との連携の仕組みなどを学習します。

● 中小企業・商店経営者教育プログラム(ビジネススペシャリスト育成コース)(3時間×5回)

企業や商店の立場から地域活性化を担う方、社会起業家やコミュニティビジネスを始めたい方を対象とします。

財務分析、銀行等の利用の仕方や実例などを学習します。

地域づくり塾の人材育成プログラム

体験プログラム HOP!



はじめに、「地域づくりとは何か?」の講義を聞きます。

地域づくりの重要性を知ることがポイントです。



次に、アイスブレイクを行い、初対面の緊張感をほぐします。

ここでは「自己紹介」ならぬ「他己紹介」を行います。



最後にワークショップによって自分の住む地域の「良いところ探し」をします。

当たり前と思っていることを言葉にすることは以外に難しいもの、けれどそれを乗り越えたとすてきな発見があるはずですよ。

🗣️ 参加者の声

- ワークショップで、合併した他の地区のことを知ることができた。
- ワークショップの作業を通じて、楽しみながら、地域の特徴や問題点をはっきりと意識することができた。

学習プログラム STEP!



地域づくりについて考えよう!

授業は大学と各市を結んだ遠隔講義とワークショップの組み合わせです。一方通行の授業ではなく、3市の受講生の間でのディスカッション(意見交換)も行います。

講義では「地域づくりの考え方」「3市の比較」「地域づくりの手法」などを学習します。地域づくりの方法を3市で一緒に考えます。



最終日にワークショップを行います。最後に発表し、3市の間でディスカッションします。

自分の住む地域の問題について解決のヒントがもらえるかも!?

🗣️ 参加者の声

- 地域を比較してみるとという視点がなかったので、今回の授業は参考になった。もっと他の受講生の意見が聞きたかった。
- 仙北市は飛騨市とよく似た特徴を持っていると思った。

応用プログラム JUMP!

地域づくりを始めるには...

応用プログラムでは、自分の活動に合わせた3つのコースを用意しています。

実際に活動するにあたり必要な知識を遠隔講義で学習します。各コースの重複受講は可能です。

● 地域コミュニティ・NPO育成プログラム 地域リーダー育成コース

9月～10月の土曜日 計7回

20年度授業科目例

「地域づくりと非営利組織の役割」「ファシリテーション入門」「非営利組織の運営とファンドレイジング」ほか

● 地域づくり専門家育成プログラム 行政スペシャリスト育成コース

10月～11月の火曜日(夜) もしくは水曜日(夜) 計7回

20年度授業科目例

「地域づくり再生のしくみづくり」「リーダーシップ論」「地域活性と自治体の活用」ほか

● 中小企業・商店経営者教育プログラム ビジネススペシャリスト育成コース

8月～9月の水曜日(夜) 計5回

20年度授業科目例

「成功するビジネスプランの作り方」「基礎から学ぶ実践会計講座」「店舗経営」ほか

🗣️ 参加者の声

- 講義の間に入る先生からの「問いかけ」から始まるディスカッションは、双方向性のあるこのWEBのしくみをうまく利用していて、とてもわかりやすかった。

地域づくりを やってみよう!

プロフェッショナルコース ACTION!

11月～12月 土曜日 計2回

応用プログラムを修了した方を対象に、それぞれの活動をはじめるとあたって必要となるサポートを行います。遠隔講義1回+対面講義1回